RECOMMENDATION

LM ガイドの潤滑方法

**LM ガイドを使用する際には、良好な潤滑をする必要があります。
潤滑が不足した状態で使用すると、転がり部の摩耗増加や
早期寿命の原因となる場合があります。**

THK
The Mark of Linear Motion

ＬＭガイドの潤滑方法

潤滑剤には以下の役割があります。

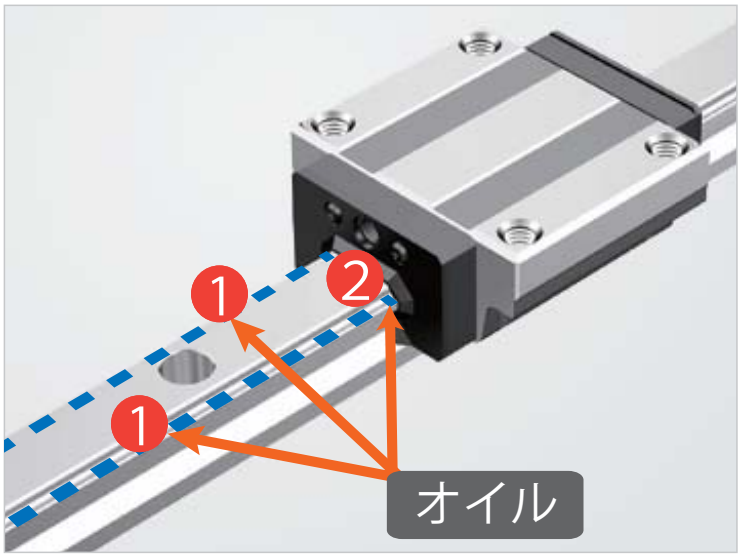
1 各運動部の摩擦を小さくして焼付けを防ぎ、摩耗を減らす
2 転がり面に油膜を形成させ、表面に働く応力を融和し、
　転がり疲れ寿命を長くする
3 金属表面を油膜で覆い、錆の発生を防ぐ
4 摩擦熱の冷却効果に優れる

LMガイドの機能を十分に発揮させるには、使用条件に応じて最適な潤滑剤を選ぶことがとても重要です。
今、使っているＬＭガイドは適切な潤滑状況が保たれているでしょうか？
今日は良好な潤滑方法について少しご紹介します。

ステップ１　潤滑剤の有無の確認

①図のように転動面、つまりボールが走行する「溝」の部分に 油分がしっかり付着していることを確認しましょう。

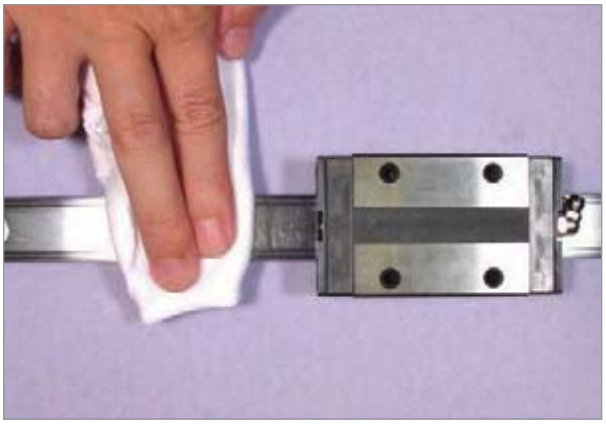
②また、「シール接触面」にも油分がしっかり 付着していることを確認しましょう。乾いている場合は、必ず給脂が必要です。



*LM*ガイドの機能を十分に発揮させ長期間使用するためにも、常に油分が付着している状態を保ちましょう。

ステップ２　異物が付着していないか確認

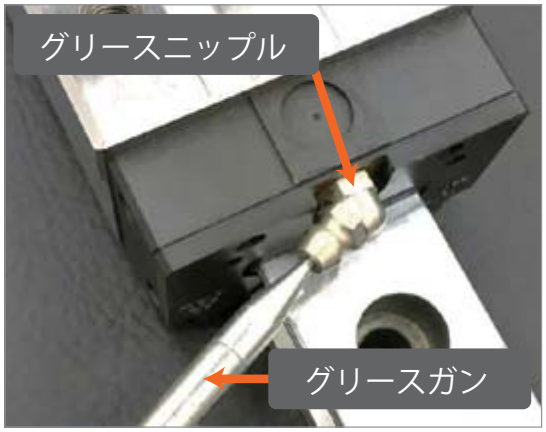
LM レールに異物が付着していないか、しっかり確認しましょう。異物を放置すると、LM ブロック内部に入り込んでしまう可能性があります。
異物の付着を発見した場合にはウエス等でふき取り、その後に LM ブロックにグリースを給脂して下さい。
そして、右の写真のように、LM レールにもグリースを薄く塗布して下さい。
これは、防塵用シールの摩耗を低減しシールを保護する為です。



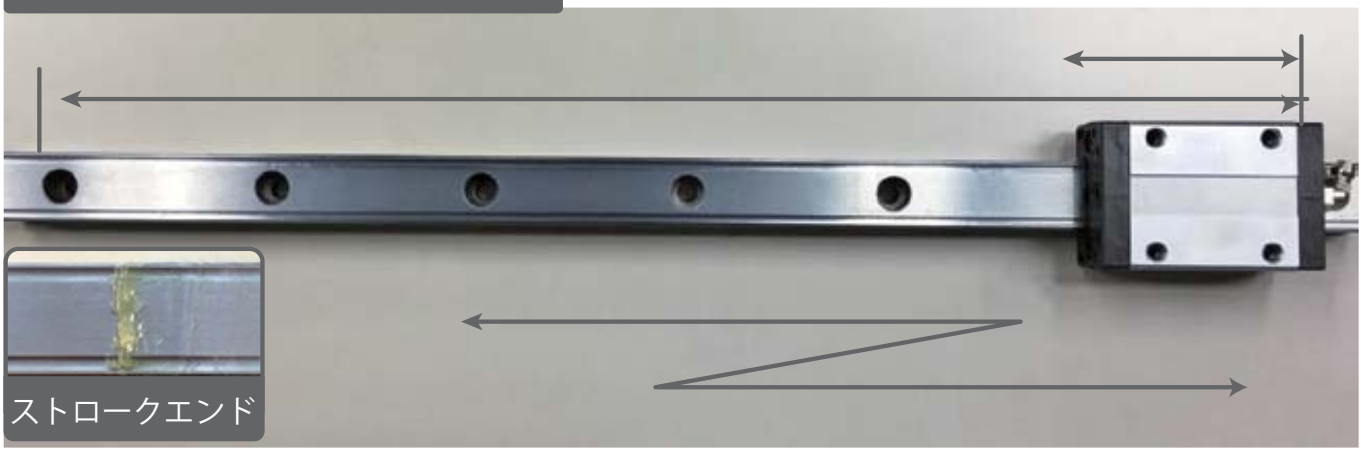
*LM*レールに異物が付着しやすい環境で*LM*ガイドをお使いの場合は、カバーをつける等の対策をお勧め致します。

ステップ３　グリースを給脂する

① 装置を停止し、グリースガンにて 1～2 ショット、グリースをグリースニップルより封入します。
② LM ブロック全長の「5 倍」のストロークを 1～2 往復させましょう。
③ ①と②を繰り返し、ストロークエンドまでの転動面にしっかりとグリースを塗布して下さい。
※グリースの「量」や「頻度」は、お使いの製品・環境・条件により異なります。



LMブロック全長の約5倍



給脂頻度：使用条件や使用環境により異なりますが、通常使用の場合、走行距離*100km*を目安に給脂してください。

ＴＨＫの潤滑製品群

THKは潤滑に関する各種グリース、グリースガン、グリースニップル、配管継手などを豊富に取り揃えております。

低摺動用
AFA

万能タイプ
AFB-LF

高速・微振動用
AFC

クリーン環境用
AFE-CA

クリーン環境用
AFF

ボールねじ用
AFG

広速度範囲用
AFJ

クリーン環境用
L100

高負荷ボールねじ用
L500

医療・医薬・食品機器用
L700

グリースガンユニット
MG70

グリースニップル

専用配管継手

正しい潤滑剤を選ぶことによって、製品の性能を最大限に発揮させることができます。
また、ＴＨＫがお客様の使用環境に合わせて最適な潤滑方法をご提案致しますので、ご不明な点はお気軽にご相談下さい。